

日本発達心理学会「発達障害」分科会 2005 年度活動報告(案)

1. 役割分担 (敬称略)

◇世話人 秦野悦子、本郷一夫、金谷京子、大井 学、長崎 勤、井上雅彦
佐竹真次、常田秀子、青木綾子、中村 晋、小野里美帆、糠野亜紀、川田 学、鈴木智子、高橋千枝、
藤野 博、澤江幸則、河合真紀子

◇代表 長崎 勤

◇会計 河合真紀子

◇会計補佐 岸本美紀・家山華子

◇会計監査 塚田みちる

◇事務局 三津本厚子、吉井勘人、薮典子、仲野真史、平野はるな、小野里美帆

◇名簿作成 三津本厚子、平野はるな

◇書記 川田 学

◇News letter 編集委員会 (原稿収集、編集、送付) 川田 学、鈴木智子、高橋千枝 澤江幸則

◇文献情報 川田 学

◇例会手続き (部屋予約、機材準備) 吉井勘人

◇メール (ホームページ) への情報掲載 常田秀子

◇シンポ・ラウンド企画 金谷京子

◇日本臨床発達心理士 研修ポイント対象の申請 藤野 博

◇2005 年度夏合宿幹事 金谷京子(テーマ) 野口昌弘 (会場)
(会員数、241 名 2006 年 3 月現在)

2. 活動報告

年間テーマ：『「集団」における「個」の発達アセスメント
/ 「集団」そのものの発達アセスメント』の可能性と課題

1) 総会

日時：2005年3月28日(月)

場所：神戸国際会議場

議題：活動報告・活動予定承認、決算・予算案承認

2) 学会

(1) 日本発達心理学会第16回大会(神戸大学) 2005年3月27日(日) - 29日(火)

<自主シンポジウム>

日時：3月29日(火)

場所：神戸国際会議場

テーマ：集団における個の発達アセスメント

—巡回相談のコンサルテーションにおける行動観察観点の共有化—

企画者：発達障害分科会・常田秀子(和光大学)・小野里美帆(洗足学園短期大学)・長崎 勤(筑波大学)

司会：長崎 勤

話題提供：

・常田秀子・小野里美帆 行動観察システムモデルの提案：観察観点の共有化

・木原 久美子(帝京大学) 統合保育のニーズに応えるコンサルテーション—保育

者と発達相談員の協働という視点からー

・園山繁樹（筑波大学） 行動論からのアプローチ

指定討論

・本郷一夫（東北大学）

・金田利子（白梅学園短期大学）

<ラウンドテーブル>

日時：3月28日（月）

場所：神戸国際会議場

テーマ：事例を通してみる集団のなかの子どもの発達アセスメントの実際

企画：秦野悦子（白百合女子大学）

澤江幸則（文京学院大学）

川田 学（都立大学大学院）

司会：鈴木智子（埼玉純真女子短期大学）

話題提供：秦野悦子（白百合女子大学）

森 正樹（ハローキッズ）

藤崎春代（帝京大学）

指定討論：佐竹真次（山形県立保健医療大学）

(3) 日本教育心理学会第47回総会 分科会企画シンポジウム

日時：9月19日（月）

場所：北海道浅井学園

テーマ：保育・教育の場において集団と個を捉える視点

企画者 長崎 勤（筑波大学）

常田 秀子（和光大学）

司会者 長崎 勤（筑波大学）

話題提供者 本郷 一夫（東北大学）

澤江 幸則（文京学院大学）

指定討論者 近藤 清美（北海道医療大学）

常田 秀子（和光大学）

(4) 日本特殊教育学会第43回大会 分科会企画シンポジウム

日時：9月23日（金）

場所：金沢大学

テーマ：特別支援教育における臨床発達心理学的アプローチー個への支援、関係への支援ー

企画者 長崎 勤（筑波大学）

日本発達心理学会・発達障害分科会

司会者 佐竹真次（山形県立保健医療大学）

話題提供者 長崎 勤（筑波大学）

本郷一夫（東北大学）

上原素子（千葉県立香取養護学校）

指定討論者 秦野悦子（白百合女子大学）

3) 例会

(1) 6月例会

日時：2005年7月2日（土） 13時30分から16時30分

場所：筑波大学・学校教育局（東京キャンパス）206号室

テーマ：「気になる」子どもの保育支援における方法論的検討—子どもの変化と集団の変化をどう捉えるか—

コーディネーター・司会：澤江幸則(文京学院大学)

話題提供：本郷一夫（東北大学）

指定討論：長崎 勤（筑波大学）・常田秀子（和光大学）

(2) 12月例会

テーマ：保育の場における巡回相談—ガイドライン中間報告—

日時：12月3日（土）14:00～

場所：筑波大学大塚校舎

コーディネーター：金谷京子

司会：三原富士子（騎西養護学校）

話題提供：金谷京子（聖学院大学）

石川由美子（宇都宮短期大学）

4) サマーワークショップ

テーマ：巡回相談のガイドライン作成(第1案)に向けて

—個と集団のアセスメントと支援の共通理解—

コーディネーター：テーマ：金谷京子（聖学院大学） 会場：野口昌弘（作新学院高等部）

日時：2005年9月10日（土）、11日（日）

場所：栃木県那須湯元温泉（新那須温泉）「大島フォーラム」〒325-0301 栃木県那須郡那須町大字湯元205 Tel 0287-76-1700

プログラム：

話題提供：久家康雄（那須養護学校）、小林英二（鹿沼市健康課）

石川由美子（宇都宮短大）

秦野悦子（白百合女子大）

5) ニュースレター

47号のみ全員に郵送、以降はメール版と郵送

①05年5月号：（第47号）総会報告（活動計画）学会報告、6月例会案内

*会計報告、年会費振込用紙、名簿同封

② 7月号：（第48号：メール）サマーワークショップ案内

③ 10月号：（第49号：メール）11月例会案内

④06年3月号：（第50号）総会案内、例会報告、次年度へ向けて

日本発達心理学会「発達障害」分科会 2006 年度活動計画(案)

1. 役割分担 (敬称略)、() は規約上の名称

<役員>

◇世話人(幹事) 秦野悦子、本郷一夫、金谷京子、長崎 勤、井上雅彦、佐竹真次、常田秀子、中村 晋、糠野亜紀、川田 学、鈴木智子、高橋千枝、藤野 博、澤江幸則、河合真紀子、森 正樹、亀田良一 () は新規)

◇代表(会長) 長崎 勤

◇会計 河合真紀子

<事務局関連>

◇会計補佐 岸本美紀・家山華子

◇会計監査 塚田みちる

◇事務局 三津本厚子、薮典子、仲野真史、平野はるな、吉井勘人、小野里美帆

◇名簿作成 三津本厚子、平野はるな

◇書記 川田 学

<広報関連>

◇分科会 News letter 編集委員会(原稿収集、編集、送付) 川田 学、鈴木智子、高橋千枝
澤江幸則

◇文献情報 川田 学

◇メール(ホームページ)への情報掲載 常田秀子

◇シンポ・ラウンド企画 金谷京子

<例会・サマーワークショップ関連>

◇例会手続き(部屋予約、機材準備) 吉井勘人

◇日本臨床発達心理士 研修ポイント対象の申請 藤野 博

◇2006 年度夏合宿幹事 ?

2. 活動予定

1) 年間テーマ:

発達障害を根本的に考えるための「基礎研究」と、臨床現場をサポートする「実践研究」の2本立てで年間テーマを進める。

①基礎研究:「社会性(sociability)」とは何か?

臨床・教育現場で今、「社会性」のアセスメントと支援が求められているが、今までの研究はそれぞれの研究者が自分の好みの「社会性(例えば向社会性、自己制御など)」に焦点を当てて研究を行ってきており、子どもの「社会性」がそもそもどの範囲をいうのかについて、述べられたものはほとんど無い。発達障害分科会は臨床的・教育的アセスメント・支援を射程に入れながらも、そもそも何を持って社会性というのか、また社会性発達のメカニズムについて基本的な問いを提起し、子どもの社会性を包括的に捉える観点と方法を模索したい。

②実践研究:保育・教育の場での「巡回相談」の方法論の検討と、その妥当性の検討

発達障害分科会は、2004、2005 年度にわたり『「集団」における「個」の発達アセスメント / 「集団」そのものの発達アセスメント』の可能性と課題について検討を行い、その成果を基に 2005 年度は「巡回相談ガイドライン試案」を作成し、臨床現場での適用を始めている。2006 年度は巡回相談ガイドラインを保育臨床場面で適応し、その方法論的な精緻化と妥当性を更に検討する。

2)総会

日時：2006年3月20日(月)

場所：九州大学

議題：活動報告・活動予定承認、決算・予算案承認

3)学会活動

(1)日本発達心理学会第17回大会 「発達障害」分科会企画シンポジウム

2006年3月21日(火) 15:00~17:00 九州大学 103講義室

自主シンポジウムタイトル：特別支援教育における巡回相談ガイドライン試案
——保育の場における巡回相談——

企画責任者 発達障害分科会企画
企画代表 金谷京子(聖学院大学)
話題提供者 秦野悦子(白百合女子大学)
本郷一夫(東北大学)
金谷京子(聖学院大学)
指定討論者 山崎 晃(広島大学)
司会者 佐竹真次(山形県立保健医療大学)

(2)日本特殊教育学会第44回大会 分科会企画自主シンポジウム

日時：9月16-18日

場所：群馬大学

テーマ：巡回相談ガイドライン

企画者： 金谷京子(聖学院大学)
日本発達心理学会・発達障害分科会

司会者： 未定

話題提供者： ・未定

・
・

指定討論者： 未定

原稿締め切り：5月8日

4)分科会例会

(1)6月例会(検討中)

テーマ：「社会性」とは何か? (「社会性の謎」(仮)

コーディネーター：長崎 勤

日時：2006年6月24日(土),or25日(日) 13時30分から16時30分

場所：筑波大学・学校教育局(東京キャンパス)

プログラム：(交渉予定)

★問題提起：長崎 勤

★話題提供：鈴木智子(純真女子短期大学) 自己制御と要求行動の発達の関連性
中澤 潤(千葉大学) 自己制御の発達と状況要因

★指定討論：斉藤こずえ(國學院大学)
秦野悦子(白百合女子大学)

(2)12月例会

テーマ：巡回相談?

コーディネーター：

日時：12月2日（土）14:00～（？）
場所：筑波大学大塚校舎（東京メトロ茗荷谷駅徒歩2分）
司会：
話題提供：

5) サマーワークショップ

テーマ：社会性？
巡回相談？
コーディネーター：？
日時：2006年*月*日（土）、*日（日）
場所：

6) ニュースレター

51号のみ全員に郵送、以降はメール版と郵送

- ① 06年5月号：（第51号）総会報告（活動計画）学会報告、6月例会案内
*会計報告、年会費振込用紙、名簿同封
- ② 7月号：（第52号：メール）サマーワークショップ案内
- ③ 10月号：（第53号：メール）12月例会案内
- ④ 06年3月号：（第54号）総会案内、例会報告、次年度へ向けて

日本発達心理学会「発達障害」分科会規定

第1条(名称)

本会は日本発達心理学会「発達障害」分科会と称する。

第2条(事務局)

本会は、事務局を当分の間、以下の場所に置く。

〒305-8572 つくば市天王台 1-1-1

筑波大学・人間総合科学研究科（心身障害学系）長崎勤研究室

第3条(目的)

本会は日本発達心理学会との密接な連携の下に、発達障害に関心を有する会員相互の交流と研修を促進することを通して、日本における発達障害研究の向上をはかることを目的とする。

第4条(事業)

本会は前条の目的を達成するために次のことを行う。

- 1) 例会の開催。
- 2) シンポジウム・ラウンドテーブルの開催。
- 3) 分科会ニュースレターの発行。
- 4) その他本会の目的を達成するために必要な事業。

第5条(会員)

発達障害に関心を有する者で、設立趣旨に賛同し本会規定を遵守する者は幹事会の議をもって会員となることができる。

第6条(役員)

本会には次の役員をおく。

- 1) 会長 1 名
- 2) 幹事若干名
- 3) 会計 1 名

第7条(幹事会)

幹事会は幹事をもって構成し、会の運営に当たる。

第8条(会長)

会長は本会を代表し、会務を統括する。会長は幹事の中から互選により選出する。

第9条(幹事)

幹事は会員の互選によって選出する。

第10条(会計)

会計は本会収支に関する業務をつかさどる。会計は会員の互選によって選出する。

第11条(任期)

役員の前任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

第12条(会費)

本会の運営のために、本会の主催する事業に参加する会員に対して年会費 1,200 円を徴収する。

第13条(運営費)

本会の運営は、徴収した会費と日本発達心理学会からの補助金によってまかなわれる。

第14条(年次総会)

日本発達心理学会大会開催中、またはその前後に年次総会を開き、年間活動計画の策定など分科会活動に必要な事項を審議する。

第15条(事業年度)

本会の事業年度は1月1日から翌年の12月31日までとする。

第16条(規定の改正)

本会の規定を改正する場合には、幹事会の審議を経た後、総会出席者の半数以上の承認を受けるこ

ととする。賛否同数の場合は、会長がそれを決する。

付則 本規定は2005年1月1日から発効する。